



Share Rotary—
Serve People

みんなにロータリーを
みんなに奉仕を



会長 内山喜一 幹事 齋藤 隆 副会長・クラブ奉仕 佐藤順治 職業奉仕 石川寿男 社会奉仕 佐藤 衛 国際奉仕 三井 健 青少年奉仕 小池繁治

出席報告：会員73名 出席58名 出席率79.45% 前回出席率72.60% 修正出席62名 確定出席率84.93%

本日は米山奨学会協力の日です。1人1ドル以上のご寄付をお願いします。

米山奨学金13,962円有難うございました。

会長報告

内山喜一君

去る17日のクリスマス家族会は、誠に厳粛にして且つ大いに華かさを加えて大成功裡のうちに開催されました。これは偏えに親睦委員会並びにS.A.A.の方々のユニークな設営と運びの巧みさに負うもので加えて、会員並びにご家族の方々の親睦と友情の賜と存じます。

此処に更めて親睦委員、S.A.A.のご協力頂きまし

会員スピーチ

晩酌と健康管理

早坂徳治君



先づ私がお酒好きということは、小売酒販業の商売柄と云う事もありますが、特に我が国古来の伝統ある日本酒でチビリチビリ味を吟味しながらいただくことが、実に風流さも加わり一段と楽しみを増すことになる。

酒類の中でも日本酒は、国民酒とさえいわれ、冠婚葬祭すべての行事になくてはならない貴重な存在であることは、今更申し上げるまでもない。

私はもう既に喜寿の老令ですから、最近は量的に制限をしています。大体夕食前に晩酌は一合（コップ一杯）時にはテレビの番組などによっては若干弾むこともあるが、最高一合五勺を限界としている。

た各位に厚くお礼申し上げます。次第でございます。

幹事報告

齋藤隆君

1. 台中港区ロータリークラブより
会報及び扶輪11月号到着
2. ロータリーの友事務所より
1983～84年版全国会員名簿及びロータリー日本60年史追加注文のお願いが到着
全国会員名簿 3,000円
ロータリー日本60年史 3,500円
(いづれも送料別)
申し込みは事務局まで

しかしながら色々会合の多い私には兎に角宴席がつきまとうので、飲む機会がかなり多く、酒席には旧友あり、若人あり、又老若男女を問わず、お酒が廻るにつれ嬉しさに乗じて、さかづきを交すことしきりで、平日の限界を無意識に突破がちで、注意に努めている。

健康管理と申されても、格別に注意をしていることはありません。元来若い時分から幸せなことに、名のつくような病気はしたことがございませんが、2～3年前より右足の関節を痛め（水が溜る）正座するに一寸具合悪く、又便秘がちで少し困ることがあり、血圧の方は時々内科の先生より計っていただいている程度、その時内臓関係もみていただきますが、早坂さんはカメはいたって丈夫だと冗談を飛ばすことさえあります。

食欲は頗る良い方で、何を食べても大変おいしく毎食うまい、おいしいの連発で、調理人には心から感謝を込めていただいています。

朝食は食パン1枚に蜂蜜を片面に塗って、それにヨーグルトをカップで一杯に黒酢を少々注ぎ（便秘の為に）野菜或は山菜料理一品、昼はご飯茶碗で一杯と少々、味噌汁に店で作った手造りの惣菜、つけ物、魚或は塩乾物、夕食は肉料理、味噌汁、手造りの野菜料理、つけ物。特に毎日のように一食は肉を食べるので、野菜を出来るだけ多く食べ、栄養のバランスをとるよう注意している（ご飯は1.3杯）。

私は普通の小作農家に生まれました（出生時耕作反別四町三反歩）内、自作田一町三反歩でした。西田川郡大泉村字矢馳という戸数33戸という小さな部落ですが、珍しいことには大地主2戸ありまして、殊に1戸は豪農でした。この大地主を親方、親方と敬称し部落民こそぞて尊敬をしていました。何か事業を起す場合は多額の寄付を仰ぎ随って、部落民は全く大樹の陰で案外楽な生活を営みつつあった。又他の部落民と異った気風、特に質素、謙虚、そして努力は無言の教訓として部落民に育まれた。私もその1人で、今もって感謝の念を禁じ得ないものがある。「若い時はどんな若労も買っても学べ」とやら実に名言であるが、事実己の身にふりかかった場合は全く有難いものではなかった。

私は満23才の時、養子として現在の職業・酒類販売業に従事いたしました。僅か66日目にして45才の養父を急性肺炎で亡くし、商いの経験全くなかった私は殆んど途方にくれ、物心両面に亘り実に苦悶の毎日が続けました。ただ、有難いことに、10年間の農作業で鍛えた体と体験がありました。農作業の中に馬耕競梨会、雁爪の競技会、藁工品競技会、同品評会など、特に馬耕の競梨会には大山地区或は上郷地区と飛び入り参加する等、その場所に行くとき静かに見ていれない性分で、腕がムズムズするほど好きでした。

鶴岡に来てからも、大山にリヤカーで酒を仕入れに行く途中、友江部落の整理地で黒山のような人だかりが見えたので、何であろうかと近づいたところ

案の定私の大好きな競梨会でした。早速出羽の雪蔵元に品質の良い酒を詰めていただくよう頼んで、自転車を実家に飛んで行き、馬を引き出し競技場に来た時は最終会の六回目が既に始まり、早い人は半分位出来ている。タイム係員に参加をお願いしたところ、今となっては駄目と出場を断わられた。あまりにも惜いるので嘆願したところ、審査長初め5人の審査員が集まり再審議の結果出場許可になり、喜んで出場した結果2位に入賞になった。

当時の農作業の厳しさは相当なもので、この体験を活かし頑張ればどんな苦しい事でも堪え得ると確信を持っていた。

青年時代は「頭髪光れば鍬錆びる」などの標語を目標に、若い時から一度も髪を伸ばしたことなく、休みや暇を利用しては「晴耕雨読」などの言諺を利用し、ありあわせの皿に墨汁を流しては、吉田苞竹先生の通信教授の書を学ぶ。どこまでやれるのか、やれるだけはやってみようとの意気込みだけは、心の底に流れていった。今こそ試練の時期とばかりに先づ商いの他に得意な労働（肌で）で当れと覚悟を決め3人分の働きを目標に進むことにした。例えば当時は1升ビン入れのお酒は市場にはなく、もっぱら樽詰（5升入）、2升5合入（半樽）の2種類でした。本業の酒樽をリヤカーに積み、卸・小売に出かけ、帰りには田川村方面であれば、奥の坂の部落まで足を伸ばし木炭（正味8貫入）7俵仕入れ、これを繰返し、木炭業も兼業とした。1俵当り30銭の利益としても2回以上になり、昭和7～8年の不況時では、県事業の道路の改修工事の作業員、男1日の賃金1円で、女は80銭でした。私は帰りの収入ですから勿体ないくらい。しかし、湯田川から町田川に通じる大日坂をリヤカーで引き上げる夏場の暑さ、汗は止めどなく、早鐘のように胸打つ鼓動の響き、ひとまず一服とリヤカーを山手に横向きにし、歯止めを掛け、呼吸の正常復帰を待つ。やがて呼吸の整い次第又渾心をこめて頂上目がけて頑張る。漸くにしてたどり着く頂上で、どっかり腰を降しました一服。小さな谷川のせせらぎの水溜りに顔を沈めて飲み込む水のうまさは何んとも贅えようがない。又

寒中に田川村の砂谷部落から10俵の木炭を小さなソリに仕掛けをして引き出すなど、遠くは福栄村（菅の代）、落合、砂川、黒川村の糺代部落など、この種の仕事に対する苦労や体験が今以って新たな記憶として甦ってくる。ある時は市役所の施策で燃料不足を補う為田沢、大鳥方面から薪の原木を大量に丸太のままで、今の常念寺の近所の空地に運び、山と積んだことがある。その原木の処理作業（割木作り）を市役所から私共燃料組合が依頼を受けました。組合としては経験の無い人は出来ませんので、実際に参加した人は僅か10人不足でした。朝6時半に集合し、1人薪2棚を割り結束をし、更に各町内会の組長さん宅にお届けするので、いわゆる配給事業でした。これも相当の仕事で、思い出の一つ。寒中吐き出す息は白く氷る中で、作業前は鋸の目立、次に斧を磨ぎ、結束用の縄を切断し、用意周到怠りなくいよいよ作業開始ともなればシャツ1枚で寒中とはいうものの流れる汗は滝の如し。鉢巻姿もりしくまるで競技会同様。休憩やお昼休みなども合同で一緒に休み、従って出来上がる時間は午後3時頃で、早く出来た人と遅い人の差たるや、実に5分位でしたから、如何に全員全力投球であったか、その真剣さが伺われる。

私はこのような働きはまだまだいくらかあります。その他一番気にしておったのは、昭和18年の暮に横須賀海軍工廠で作業中での大怪我です。入院期間約2ヶ月間、打撲症で内出血を起し、幸い血尿となって出たのがよかったのか、手術を免れましたが、若干後遺症が季節の変わり目には感じる程度です。この事があって以来、長男が大学を卒業し、家事に従事と同時に私の事をすごくかばってくれますので、出来るだけ重い物或は過激な動作をさけるよう注意をしております。

顧みれば、随分激働をやり、体を酷使した方ではないかと思いますが、よくも今日までこの健康を保ち得たものと我ながら感心の他ありません。

私を見る限り、どんなに激務でも、病でない限りは心配ご無用と感じる。これも毎日こよなく愛し、楽しく飲む晩酌が活性化に効ありとするならば、適

量飲用こそ正に長寿の妙薬というべきであり、大いに愛飲されんことを望む。

委員会報告

- 早坂源四郎会長時代の第1回目交換学生からの手紙

鶴岡R.C.の皆様への年末年始のご挨拶
アメリカ合衆国オハイオ州サンダスキーの街に雪が降っています。私は羽黒山も雪で白くなっているだろうと思います。

多くの年月が経過しましたが、私は鶴岡で楽しんだ新年の休日のことを懐しく思い出します。私は、あなたのクラブが私に下さった楽しい着物のこと、幸福なクリスマスパーティー、お餅つきのことなど思い出しています。

たとえ、皆様とお会いしてから長い歳月が経過しても、私や私の両親に対してのご親切を暖かく思い出します。

私は結婚して3才になる息子がおります。夫は地質学者です。私は新聞の編集者として働いています。

私はいつの日か、彼らと共に日本に行きたい。そしてるわしい鶴岡の方々とお会いすることが出来ることを希望しています。

生涯の友情を以って

アイリン

- デビット・M・ヘイレンさんからの手紙

親愛なる内山喜一さんへ

いつも私の愚息デビットがお世話になり誠に有難うございます。

訪鶴した時も同様こまごま面倒をみていただき感謝に耐えません。並びに斎藤市長、新穂さん、加藤さん、小野寺さん、滝川さん等より大変お世話になっておると聞きおよんでおります。これだけ色々皆様のお世話になっておるデビットは、必らず貴方の期待にそうよう頑張っ

くれるものと確信しております。

私共ニューブランズ・ウィックのロータリークラブ会長ドクター・カール・チェイトン氏は来春訪日し、鶴岡を訪ねることを今から楽しみにしております。彼から貴方と三井先生に宜しくとのこととです。

新穂めぐみさんは今、セイント・ピーター高等学校で勉学にいそしんでおります。友達もいっぱいでき、彼女の英語の発達は驚くほどです。明年1月7日には、スライド写真を使って素適な鶴岡を私達に紹介してくれることになっております。

向寒の折お身体大切に。 敬 具

○元会員安藤定助さんからの御礼状

謹啓 一昨夜は楽しいクリスマス家族会に御招待を賜り、御友情有難く深く感謝申し上げます。久方振りに会員並びに御家族更に元会員のお親しい方々にお目にかかり誠に嬉しく、又久し振りに歌うロータリーソングも感激身に滲みるものが御座いました。往時を回想し乍ら、本当に楽しく歓談させていただきました。

新進気鋭の会員も随分入会され、その数も増強され、又相変らぬ会員各位の甲斐甲斐しい御奉仕、そして山下さんの細心周到の御活躍等誠に敬服の外なし。頼もしく存じました。

平素御指導賜りました奉仕の精神を忘れず、職業に、社会に、青少年に、国際に夫々の奉仕に励げみ、奉仕の理想の追求に努めている心算では御座いますが、折々現役の皆様の奉仕、親睦に接し得ますことは大変鞭撻されるところが多く、感謝申し上げます。

貴R.C.の益々の御発展と会員並びに御家族様の御揃い御健勝にて御越年遊ばされますようお願い申し上げます。先づは右御礼まで。

敬 具

鶴岡ロータリークラブ
会長 内山喜一殿

安藤定助

○ロータリー財団事務長よりの手紙

1983年12月13日

鶴岡ロータリークラブ

玉城俊一様

拝 呈

ロータリー財団管理委員会に代り、このほどご寄付賜りました高額のご芳志を感謝し、財団のポール・ハリス・フェローとして認証申し上げます。ご芳志は、国際理解の増進と世界平和をめざす財団活動の推進に大きな力を加えるものとなるのであります。

ロータリー財団は、その国際奉仕の充実と発展をはかるのに、あなたのような寛大なる支持者の皆様の自発的なご寄付に依存しているのであります。

ロータリー財団は各種奨学金、研究グループの交換、特別補助金、保健、飢餓追放、人間性尊重プログラムへの補助金などの活動を行っております。これらの活動を通じてロータリアンは世界各国間の理解の増進をはかるために奨学生やその他の親善使節を海外諸国へ派遣させております。

ロータリー財団に対するご関心と寛大なるご支援に対し深く感謝の意を表す次第であります。

敬 具

ハーバート・A. ピグマン

ロータリー財団 事務長

○交換学生からのお便り 大安 (Diane)

あけましておめでとうございます。
新年が貴方にとって健康で幸福であることを希望しております。

私はまだサウジアラビアで教鞭をとっております。大変熱く乾燥した土地柄ゆえ日本の木の緑が懐しく思い出されます。日本での幸福で楽しかった日々を思い出して下さい。

新年のご繁栄をお祈りします。

ビ ジ タ ー

鶴岡西R.C. 佐藤 等君・菅原年雄君

加藤重郎左エ門君

(今週の担当者 嶺岸光吉)